

学校教育目標		重点目標（中・長期的目標）		総合評価							
憲法及び教育基本法に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 課程・学校の性格を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。		1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を發揮できるよう努力する。		中間評価		成果と課題		A	B	C	改善策・向上策
				今年度目標		進路指導や学年、教科を中心に、学力を伸ばすべくさまざまな取り組みを行っている。		各教科、HR、学年、進路指導係、クラブ指導等を中心にして、生徒一人一人の希望や適性にあった進路指導や学力の伸長を目指した実践を行った。			○
		(1)個々の生徒の進路実現をめざし、学力の伸長をはかる。		生徒指導や学年を中心に、頭髪などの身だしなみ指導や街頭指導を通じて、基本的な生活習慣の確率を図っている。部活動では、運動部文化部ともに複数のクラブが全国大会に出場し活躍した。		基本的な生活習慣の身につけていない生徒が若干いる。基本的な生活習慣の確立が、学力向上や進路実現に直結することを改めて意識させたい。クラブ指導などを通して、自主性の慎重がなされた。			○		・日々の「当たり前」と思われる実践を充実させる。 ・生徒との対話を通して、生徒が自分なりに考え判断する契機や機会を増やす。
		(3)より開かれた学校をめざし、家庭・地域との連携を強めその実現をはかる。		PTAや中学校、学校評議員などの意見を取り入れて対応している。特に環境整備においては、多くの保護者が参加して学校内の学習環境整備を行った。		HR・学年やPTAを通して、保護者や家庭との連携は強くなっている。地域との連携については、生徒会活動の柱として今後も取り組みたい。			○		PTA活動の活発化 生徒会活動の活発化

領域	対象	評価項目	評価の観点	中間評価	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
教育活動	教育課程	本校の教育課題をさらに改善するため、現行教育課程の点検を進めるとともに、新学習指導要領による教育課程について研究と編成を進める。	①現行教育課程の点検・改定ができたか。 ②新学習指導要領による教育課程の研究・編成を進めることができたか。	現行教育課程の点検、新学習指導要領による教育課程の研究・編成に取り組んでいる。	本校の教育課題をいっそう改善するため、現行教育課程の点検を生かしつつ、新学習指導要領による教育課程の研究・討議をすすめて、今年度末までの編成を目指している。		○		現行教育課程の点検および新指導要領による教育課程の研究を継続してすすめながら、本校の教育課題をいっそう改善したい。
	進路指導	(1)社会情勢の変化に対応した、適切な進路指導を行う。 (2)生徒の希望進路実現のため、あらゆる場面で進路指導を行う。	(1)一人ひとりの生徒が望む進路の実現ができたか。 (2)路関係の行事を通して、進路意識の高揚が図れたか。	就職指導・進学指導とも、ほぼ計画通りに進捗しており、現在も指導継続中である。今後も、生徒の望む進路の実現ができるよう努力していく。	就職希望者は全員が、年内に内定を得ることができ生徒が望む進路の実現が図れた。進学希望者も例年より多くの生徒がセンター試験に挑むなど、自らの進路に対して真剣な態度で考えることができた。また、進路関係の行事等を通して進路意識の高揚が図れた。		○		各学年と相談しながら、それぞれの学年にとって必要な進路指導の在り方を模索したいと考えている。
	学習指導	(1)「総合的な学習の時間」の計画立案および運営の取りまとめをおこなう。 (2)次年度講座選択の調整をおこなう。 (3)授業評価についての研究をおこなう	(1)年間行事予定との整合性を確保しながら、「総合的な学習の時間」において効果的な学習活動を実践することができたか。 (2)生徒の進路希望に見合った適正な講座編成ができたか。 (3)魅力ある授業づくりに向けた取り組みができたか。	(1)各学年で計画通り実施できている。 (2)1学年、2学年は進路調査と選択科目の集約が終わり、今後調整に入ってゆく。 (3)今後考えてゆく。	(1)今年度は計画通り実施されたと思われる。 (2)学年中心で進んでいるものと教科の立場等のすりあわせがこの係では不可能で最終的に開講講座をの案を検討できるのは教科主任会ではないかと思われる。 (3)今後の課題。		○		(1)教務係会等で検討できる事例や連携することができれば良いのではないかと。 (2)7月の初旬までに必要があれば教科主任も含めて選択科目調整までの手順を作っておく必要が有るのではないかと。
	人権平和教育	人権平和教育の推進により、人権に対する意識を高め、平和な社会の実現を目指す生徒の育成を図る。	(1)人権平和教育について、生徒・教職員への啓発ができたか。 (2)内容は適切であったか。 (3)各学年・係等との連携が図れたか。	当初の計画通り推進できている。本年度は人権教育の映画の実施と感想文の回収冊子作りを予定し、映画については実施できた。冊子については今後制作の予定。	本年度実施した本校での生徒向け啓発活動は内容も適切であり必要なものであった。しかし生徒に深く浸透し成果があがったわけではないので生徒職員への啓発活動を忘れないよう実施してゆきたい。		○		人権に関わる講演の資料など職員向けの参考資料をもっと頻繁に出せれば良かった。
	図書	(1)楽しく、豊かな読書体験ができるような環境を整える。(2)教科・特別活動等と連携して主体的な学習の援助を行う。	読書週間・全校読書会・図書館企画の準備や働きかけはできたか。	読書への関心を高めてもらえるように読書月間を中心に働きかけを行い、利用は伸びている。	(1)テーマ展示した本の利用が多かった。貸出も増加した。(2)2学期は授業の利用が多かった。生徒会と連携して主体的な学習に取り組んだ。		○		(1)入館者を増やしたい(2)教科等との連携について工夫していきたい
	視聴覚	(1)視聴覚教育が充実するための環境を整える。 (2)メディアリテラシー教育の推進を図る。	(1)①芸術鑑賞を実施し生徒の満足感を得たか。 ②視聴覚機器の修理・更新を図り、教育内容の改善充実に貢献したか。 (2)教科・特別活動においてメディアリテラシー教育を推進できたか。	芸術鑑賞は、講演内容も充実しており、十分な満足感を得られた。放送機器の点検とあわせ、必要に応じ、機器の更新を図りたいが、予算との兼ね合いもあるため、特別な機器更新は行っていない。	(1)芸術鑑賞を6月に予定通り実施した。充実した内容で、生徒の好評も非常に好評であった。来年度以降の実施時期についても検討したが、地区の連絡会において、例年通りとなった。 (2)教科「情報」の授業を通じて、メディアリテラシー教育を実施できた。		○		・芸術鑑賞は来年度は演劇鑑賞の予定である。実施時期は例年通り6月上旬となった。鑑賞にむけて、生徒への働きかけを行い、充実したものとなるよう努力したい。 ・携帯電話使用に関するトラブルなどを回避するために、教科担当や生徒指導係と連絡を密にとり、メディアリテラシー教育を推進したい。
	生徒指導	(1)社会から信頼される基本的な生活習慣の確立を図る。 (2)公共心の育成をはかる。 (3)安全で安心できる学校生活を推進する。	(1)無断の遅刻・早退・欠課をなくせたか。 (2)頭髪・服装など身なりを質素にし、きまりをまもることへの適切な指導ができたか。 (3)交通法規を遵守し、安全に通学する指導ができたか。	・計画に基づき、「身だしなみ検査」、交通安全教室等を行なった。 ・週1回の定例会を持ち、各学年の状況等を把握し指導に当たった。	(1)基本的な生活習慣の確立について、計画に基づき定期的に検査等を実施し、一定の成果を得ることができた。しかし、指導にのならない生徒が見られ苦慮する学年もあった。 (2)大きな問題もなく、また問題行動数も少なくよかったが、「質」の変化を感じる年であった。		○		(1)係の計画に基づいた指導だけでなく、全職員の共通理解の下、日々の生活の中での早期発見・早期の対応を進める。 (2)明らかに「生徒の変化」が見られる現状があるので、係・学年の連携をさらに図っていく。
	教育相談	(1)心の問題を抱える生徒への対応を行う。 (2)学年会との連携を密にとり、生徒の状況把握をする。 (3)関係職員や保護者への支援体制を作る。	(1)①問題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 ②必要に応じた職員研修ができたか。 (2)生徒の状況把握がしっかりできたか。 (3)スクールカウンセラーをはじめ、外部機関との連携がとれたか。また、校内でのチーム支援ができたか。	生徒の状況を把握する中、担任と連携しながら該当生徒に対応している。スクールカウンセラーと連携しながら、必要な生徒に対してカウンセリングを実施している。	(1)担任・学年との連携をとるなかで、心の問題を抱える生徒や保護者に対して、カウンセリングの実施等の支援を行うことができた。また、必要に応じて生徒や保護者と面談し話を聞くこともあった。 (2)必要に応じて係会を実施し、生徒の状況の把握を行うことができた。 (3)スクールカウンセラーと連携をとる中で、外部機関を勧めてもらうこともあった。		○		来年度は今年度より、より早く問題を抱える生徒の状況の把握することにつとめたい。なにより担任・学年との連携を充実させていきたい。早めに対応・支援することの大切さを改めて感じさせられた。
	生徒会	(1)自治活動を通じて市民性の育成を図る。 (2)クラブ活動に積極的に取り組めるようにする。 (3)生徒会と地域との連携を図る。	(1)生徒会活動に生徒が積極的に参加できたか。 (2)クラブ活動への加入率はどうかであったか。 (3)保護者や地域住民との交流ができたか。	クラブ活動への加入者は多く、運動系・文化系クラブとも成果を残してきている部が多い。鈴蘭祭の準備には、各委員会・係・学年を中心に積極的に取り組んだ。	鈴蘭祭を初め、生徒会活動に生徒が積極的に取り組むことができた。運動系・文化系ともクラブ活動に意欲的に取り組んでいる生徒が多い。		○		より多くの生徒が生徒会活動に関わっていけるように、情報を流したりして、計画的に物事を進めていく。地域社会との交流ということを目標の一つに掲げているので、何かしら実現していきたい。
	美化	校舎内外の環境美化を整え、活動しやすい環境づくりをしていく。	活動しやすい環境づくりのために清掃・ゴミ分別、ゴミ回収の周知徹底ができたか。	清掃・ゴミ分別、ゴミ回収の徹底は、まだ不十分であるが、今後も継続して徹底するよう指導していきたい。	学習しやすい環境美化づくりのための、清掃・ゴミ回収の周知徹底は、まだ不十分なところが多々あった。来年度も継続して全校に徹底できるよう指導していきたい。		○		全校の生徒・職員で協力して、清掃・ゴミ分別・ゴミ回収の徹底をし、学習しやすい環境づくりをしていく。
保健	(1)健康教育の充実。 (2)生徒一人一人の健康状態の把握と保健管理。	(1)健康維持増進のための健康教育が適切に行われたか。 (2)健康診断と事後指導は適切に行われたか。	職員対象の健康に関する研修の実施、職員・生徒に向けた定期的な保健だよりの配布、インフルエンザに対する注意喚起を行った。	クラス担任の協力により(1)(2)とも実施できた。特にインフルエンザの感染予防について積極的に対応できた。		○		地域専門機関との連携・活用	

学校運営	教務		本校教育活動の円滑な運営。	・各種行事の効率的な運営と見直し。 ・各部、係、学年、教科との密な連絡調整。	定期テストの日程見直しを行い適正化を図った。各部署との連携についてはさらなる研究が必要である。	行事日程等の見直しは前進している。多様な意見要望等をいかに全体で考え、いかに学校全体をより良いものにしていくべきか課題である。		○		さらなる行事の精選、よりよい日程作りには継続して取り組む必要がある。赤穂高校をどのような学校にしていくかを真剣に議論する場を設ける必要を感じている。
		庶務	魅力ある赤穂高校のPR。	・体験入学の活用。 ・学校案内、公開授業等の活用。	体験入学では約700人の参加があった。可能なPRは全て行っているが、さらに本校の魅力を伝える方法を模索する必要がある。	体験入学や中学校訪問を通じて、本校の特色を中学生や中学の先生方に伝えることはできたと考える。地域、特に近隣への公開という観点ではまだまだ改善の余地がある。		○		体験入学における体験授業を授業参観とする方向で検討している。
			新コース制（普通科）のスムーズな導入。	・1学年、各教科との連絡調整。	手探り状態でのスタートであった。1学年に大部分を任せてしまっている部分を改善する必要がある。	2年次からのコース別人数にアンバランスができていたことは今後の課題である。実際に成果が出るのは来年度以降であるが、そこで出てくる課題には即座に対処していきたい。		○		旧コース制で培ったことを生かせるよう努力していきたい。
		広報・情報	校内ネットワークを安全かつ効率的に運用する。	校内ネットワークが安全かつ効率的に運用されたか。	問題なく効率的かつ安全に運用されている。	今年度から一人一台パソコンが導入されたが、特に問題なく利用されている。校内ネットワークも得の問題なく運用された。		○		学校HPの各科紹介のページをリニューアルしたい。
		防災	防災意識を高め、緊急時に備える。	防災意識が高められたか。	年間計画に従って有事に即応できる体制の確立を目指している。	11月に防災訓練を実施し、有事の際の行動等の確認ができた。実施時期の検討を行いたい。		○		年間の行事配置を考える中で、実施時期を設定したい。生徒や職員への意識付け方法の検討も行いたい。
		予算施設	(1)学校予算について検討協議する。 (2)校内施設や設備の管理について協議推進する。	(1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。また、整備・修繕が適正に行われたか。	備品購入費・施設修繕費の要望をまとめ審議し、予算執行した。現時点では、その他の予算についても、適正な執行が行われている。施設・設備の整備・修繕については、継続的な課題が多く、着実な整備実現を引き続き働きかけたい。	委員会審議を経て、備品購入費・需用費を適正に執行することができた。校内施設の整備・修繕については、機会あるごとに要望をとりまとめ、早急に対応できた。長期的な見直しが必要な大規模改修については、継続的に働きかけていきたい。		○		備品管理では、管理備品一覧を共有化し、備品の有効利用を高め、購入計画の参考にしていきたい。継続的な大規模改修については、今年度での整備実現の内容と、継続課題を確実に次年度に引き継ぎたい。
		将来像検討	これからの赤穂高校のあり方について検討する	(1)生徒の実態を把握した上で赤穂高校の方向性を検討できたか。 (2)赤穂高校の特色を検討し、その特色を生かした活動のあり方を検討できたか。	・学校目標などについて検討を行った。	従来の「言語文化コース」の性格を残す教育課程の編成を教育課程委員会に依頼した。		○		学習面・生活面の両立が困難な状況にいかに対応すべきか検討する必要がある。言語文化コースが存在しない状況で以下に特色を出していくかが課題。
		P T A	P T A事務局としての円滑な運営ならびに多くの保護者のP T A活動への参加の促進。	P T A活動が円滑に行なわれ、多くの保護者が参加し、子供、学校とかかわりを持つことができたか。	ほぼ計画通り実施できている。研修旅行参加者の増加や、強歩大会豚汁サービスでの改善点など、次年度に生かすべく取り組んでいく。	P T Aの各行事に多くの保護者の方に参加していただいた。陶芸教室で作品を製作し、鈴蘭祭P T A展に出展でき、好評であった。強歩大会豚汁サービスや研修旅行などは、次年度で改善を図りたい。		○		強歩大会豚汁サービスでは、生徒数の減少に対応して運営や内容を変更していく。P T A研修旅行では、企画段階から大胆な見直し等も含めて再検討する。
		同窓会	同窓会の円滑な運営	同窓会活動が活発に行われるよう取り組むことができたか。	進路指導等生徒の活動に対する補助実施。	様々な面で助成ができた。		○		今後も、要望を踏まえ、可能な限り助成を継続していく。
		学校評議員会運営	学校評議員会の効果的な運営を行う。	学校評議員の意見要望を学校運営に生かすことができたか。	・生徒会ともタイアップして運営できた。	学校評議員の皆さまから貴重なご意見を伺うことができた。		○		今後も、学校評議員の皆さまのご意見や要望を踏まえ、学校運営に活かしていく。
		初任者研修	初任者研修の適切な運営を行う。	初任者に教員の基本的な資質能力を習得させることができたか。	・初任者と話し合いながら進めている。 ・初任者は積極的に取り組んでる。	初任者の積極的で前向きな姿勢が顕著に見られた。初任者の資質や能力が向上したと思われる。		○		初任者に対する援助をする。
		安全衛生	教職員の健康管理の推進を図る。	全職員に対して健康診断の実施と事後措置を実施できたか。	・健康管理の意識を高めるために、職員に対して多角的な働きかけを行っている。	・健康管理の意識を高めたり、健康な毎日を送るための多角的な働きかけができた。		○		次年度も、今年度同様、丁寧で時期にあったPRや実践を行う。
		修学旅行	修学旅行の検討。	①目的地・日程などについて、保護者や生徒の意見を取り入れながら、生徒にとって有意義で無理のない適切な設定ができたか。 ②業者選定にあつて、保護者の意見も取り入れながら、見積書の提出、選定方法等適正な処理がなされたか。	・目的地・日程・費用などについて、保護者と密接に連絡を取りながら計画を立てている。 ・業者選定のプレゼンテーションも、保護者に同席してもらった。	本年度の修学旅行も、計画通り実施され、生徒への教育効果も概ね所期の目的を達成することができた。次年度の計画も、進みつつある。		○		平成24年度の計画について、予算枠などの検討をしながら進める。